

たけた 市議会 だより

No. 56
令和2年2月1日発行



中岳から望む大船山と坊がつる

写真提供者

後藤 俊治 竹田市在住

Profile

大分県美術協会写真部会員 豊肥支部 支部長
竹田市美術協会写真部会員

- 一般質問 2 ~ 7
- 予算特別委員会 8
- 第4回定例会の議決結果 8 ~ 10

市政を問う

一般質問

令和元年第4回定例会は、12月3日から12月20日まで18日間の日程で開かれました。12月6日・9日、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



財政について



問 竹田市的人口は、10年後に約16,500人、20年後には、約13,000人と推計されている。次世代に

借金を残すのではないかとの市民の心配する声がある。現状のままで、施設の維持管理費や改修費等の財政支出は抑制できるのか問う。

財政課長 維持管理費は一般財源で措置されるので、大きな財政負担となることは否めない。長期的に維持費をどう捻出していくかは、施設の総量をいかに削減するかにある。新たな施設を整備せずに、今ある施設を複合や転用により活用することも有効な手段である。事例としては、荻支所は福祉健康エリアに移転し、久住支所には、JAおおいた久住支店、九州アルプス商工会が入るとともに、美術館機能を備えた複合施設となっている。転用させた施設には、旧竹田中学校、旧下竹田小学校などがあり、地域の賑わいの創出、産業振興に寄与し

ている。また、廃止した公共施設や不要と判断された施設を積極的に売却し、売却資金を次の整備費等に活用したり、基金として積み立てることで、資金が循環するシステムを構築することも重要なと考える。最終的に、不必要な施設は取り壊しを行い、その後、土地の売却または貸付により資金の確保に努めていく。

周辺部のまちづくりについて

問 都野地区には、総合病院・保育所・小学校・中学校・県立高校・福祉施設等が狭いエリアにある。コンパ

クトシティのモデル地区として、まちづくり構想を打ち出してはどうか。

企画情報課長 国から今後の方向性として、来年度の第2期地方総合戦略が示された。地方創生の視点から見ても、都野地区においてはすでに取組が進んでいるものもある。地方創生は市民を含めた民間の取組が活性化していくことが重要。市としても地域の取組が進めば、地方創生の交付金等の国の制度を十分に活用し、支援を積極的に行っていきたい。

- バイオマス産業都市認定後の取組について**
- 阿部 雅彦**
- と介護予防活動が必要となる。また、介護人材不足が大きな課題である。
- 認知症予防や介護度の維持・改善に向けた取組を、どのように強化していくのか。**
- 高齢者福祉課長** 通りの場の拡大による介護予防、支え合い活動による地域づくり、認知症施策の総合的な推進を図りたい。
- 抛点のない3つの暮らしのサポートセンターの抛点整備をすべきではないか。**
- 高齢者福祉課長** 今後も遊休施設を中心にして、公共施設や民間施設を問わず、利活用できるか検討していきたい。
- 現時点での工事の進捗状況は。**
- 商工観光課長** 工期内完成に向け、順調に進んでいる。
- どんな活用を想定しているか。**
- 商工観光課長** 市民や観光客等の賑わい創出。地域イベントでも活用。
- 備品は揃っているのか。**
- 商工観光課長** 指定管理者と協議していく。
- 災害時の一次避難所として、どのような設備があるのか。**
- 商工観光課長** 正確には避難場所であり、緊急的に避難する施設である。よって、特化した設備は備えてない。
- 企業化する方針であるが、収益をどう考えているのか。**
- 保険健康課長** 市民の健康づくり教室で講師の役割を担いながらスキルアップを果たし、後に企業・団体から資金を得られるよう挑戦し続ける。
- 竹田ヘルスフィットネスとの関係性は、二重構造になつていいか。**
- 保険健康課長** ご指摘のとおり、両組織は性格的にかなり近いものがある。双方の組織に加入している会員もいる。それぞれ役割分担しながら、
- 事業の主な内容と組織づくり及び今後のスケジュールはどのようにになっているのか。**
- 企画情報課長** 森林資源による燃料や熱利用と竹田市独自の竹資源の利活用が主な内容である。年明けには、農政課と連携し、プロジェクトチームを立ち上げて活動したい。
- 事業を実践するフィールドはどうか。**
- 企画情報課長** 市内の事業者や企業を中心にして、それぞれの地域にある木材や竹を調達し、地域内の産業循環を図りたい。
- 介護予防の今後の取組について**
- 竹田市で取り組む介護予防や自立支援の課題は何か。**
- 高齢者福祉課長** 85歳以上の人口が増加するため、早い段階での実態把握
- 城下町交流プラザについて**
- 商工観光課長** 工期内完成に向け、順調に進んでいる。
- 総合文化ホール周辺のかわまちづくり事業について**
- 高齢者福祉課長** 事業の目的や内容はどのようにものを考えているのか。また、事業終了後の維持管理の方法や経費はどうになるのか。
- 建設課長** 県事業で水量管理や水質保全のための河川整備と水辺の環境整備を考えている。維持管理については、検討委員会で市民の皆様の意見を聞き、河川管理者である大分県と十分に協議を進めたい。
- ケーブルテレビ民営化について**
- ケーブルテレビ民営化する計画か。**
- 企画情報課長** 企業と連携して地
- 双方向機能を活かせないか。**
- 企画情報課長** 現在の告知システムは双方向になつてない。家庭用IP端末機の更新も近い将来必要になる。通信技術の進展等を見極めながら検討していく。
- 双方向機能を活かせないか。**
- 企画情報課長** 現在の告知システムは双方向になつてない。家庭用IP端末機の更新も近い将来必要になる。通信技術の進展等を見極めながら検討していく。

流プラザの開館後の人口1人当たりの延床面積はどうなるか。

財政課長 予定数値になるが建物数は305施設で、床面積を11月末の人口で割った数値は $12\cdot 2\text{m}^2$ となる。

問 各論に入るが、総合文化ホールの年間維持費、運営方法は。

総合文化ホール館長 経常的な経費合計は約6,200万円。建築基準法の報告に要する経費が3年ごとに300万円。運営は一般財団法人による指定管理を考えている。

(注：一般財団法人設立に関する予算3,000万円を全額減額する修正案が可決された。)



鷲司 英彰

問 竹田市の財政について
竹田市の来年度の予算編成の方向性について問う。

財政課長 国や県が実施する補助事業を有効活用しながら重要施策のさらなる充実を図る。今後も行財政改革を進めなければならない。経常的な事務事業については、施設の民間

委託や民営化を視野に入れながら経費の削減を図る。また、公共施設については、集約化、売却・除却、民間活力の利用等により維持管理等経費の削減に努める。

問 建設的投資額は、一人当たりの平均が25万9,435円。全国で一番目と高額になっている。この原因をどう捉えているか。

財政課長 総合文化ホール、歴史文化館、無電柱化、クアハウス、荻認定こども園、久住高原農業高校学生寮等の建設事業が実施されたことが原因である。しかし、一般財源から見ると、この数年と比べて特に大きな増額となつたわけではない。

問 合併特例債を含めた地方債の返済計画について、その見通しを聞く。

市長 財源に関して、保留して守る部分と、事業実施して攻める部分が、車の両輪となって進んでいかなければ、地域の振興はないと考える。

財政課長 合併時と比べ、起債残高は確実に減少している。また、財政調整基金は増加している。元利償還のペークは令和5年度である。

問 ケーブルテレビ事業は、特別会計にする方が良いように考えるが

どうか。

財政課長 ケーブルテレビ事業は、インターネット、テレビ放送、告知放送を、一体的に竹田市の直営で実施している。インターネットとテレビ放送だけなら特別会計を設置し、利用料で運営するのが妥当である。しかし、告知放送は防災無線に代わり全世帯を対象とした行政情報の伝達手段となつているため、一般会計での取扱いが妥当である。



山村 英治

国営大野川上流土地改良事業の課題について

問 いくつかの課題を残して、来年度から大蘇ダム用水の供用が始まることで、竹田市土地改良区の維持管理計画同意が取れない理由は何か。

農林整備課長 県営事業でパイプラインを伸ばし、関連する土地改良事業を進めて、給水面積を拡げていくと、県から聞いている。

行政財産の賃貸借について

問 都野小学校用地の一部を社会福祉法人に、30年にわたる長期の貸付けをした。竹田市には「竹田市議会の議決に付すべき公の施設の廃止

人に負わせなかつた。竹田市が連帯保証人の農家に負担させたことが尾を引いている。課題は大きいが、どのようにして同意を得ていくのか。また、同意が得られなければ、用

水使用料は竹田市が直接農家から徴収するようになるのか。

農林整備課長 土地改良区を指導する立場の大分県と同意を頂くよう進め。同意が得られないときは、熊本県側と同じ扱いとなつて、竹田市が維持管理計画をつくり、直接徴収することになる。

問 国営事業全体の受益面積と、維持管理計画の面積が違い、整合性が取れていなが、竹田市はこのことをどのように把握しているか。

農林整備課長 整合性が取れていないことは把握している。令和4年度まで県営事業でパイプラインを伸ばし、関連する土地改良事業を進めて、給水面積を拡げていくと、県から聞いている。

問 地元負担金の取扱いで、同意するのに抵抗感があると聞いている。

農林整備課長 県営事業の地元負担金の取扱いで、同意するのに抵抗感があると聞いている。

又は長期かつ独占的利用に関する「条例」がある。現にある条例よりも簡単な取扱いはすべきでないと考えるが、行政財産の貸付方法がどのように変わったのか。

理事 貸付方法が変わったということではなく、平成18年の地方自治法の改正により、行政財産の用途や目的を妨げない限度において余裕があるときは、その行政財産を地方公共団体以外の者に貸し付けて、有効利用ができるようになった。



あるが、竹田市においては6項目すべてが偏差値50以下である。何が問題か。

学校教育課長 入学してから4年間の学習内容が定着されていなかつた。原因は複合的で、児童が本気で学びたくなる授業の工夫、ドリルを活用した定着を図る取組、家庭学習の徹底、「活用」に関する学習などが不足していた。

問 過去3か年連続して習熟度は県内で最下位である。学力向上の施策は。

学校教育課長 危機感とスピード感を持ち、保護者の理解も得ながら学力向上に向け努力をしていく。年度末に市独自の試験を実施し、習熟度に対し問題点を調査把握し問題解決を図る。

問 小学校の統合計画を考えるべきではないのか。

教育長 小規模校と極小規模校(複式学級のある学校)の学力差はない。小学校は「地域で子どもを育てる」の基本理念でいく。存続が難しくなった場合には再編を検討する。

問 都野小学校の校庭の一部を分離について



登記し、社会福祉法人と30年の賃貸借契約を行い、同法人が障害者就労継続支援B型事業所の建設に着手している。学校は「重要な公の施設」と条例に位置づけられており、その目的以外の使用は議会の議決事件と考える。実態は「独占的な使用」であり、行政財産であることから議決が必要と考えるがどうか。

理事 自治法、条例ともに「長期かつ独占的な利用」に特別議決が必要とされているが①グラウンドとして使われていない土地である②事業所の利用は学校として支障がない③地区が要望する交流施設である。これらのことから独占的な使用ではないので議決は必要ない。

議会を傍聴にいらっしゃいませんか



所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。

どうぞ、お気軽においでください。

また、ケーブルテレビでも定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

傍聴席には限りがあるため、希望者が多い場合にはご希望に沿えないこともあります。

お問い合わせ 竹田市議会事務局 ▶▶☎0974-63-4813



第4回定例会 予算特別委員会

令和元年度

一般会計補正予算

2,673万3千増額

(総額: 216億9,770万2千円)

令和元年第4回定例会・予算特別委員会が12月12日・20日の両日開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、議案第106号 令和元年度一般会計補正予算(第5号)については、総合文化ホール管理運営に関連する予算の一部を削除する修正案が賛成多数で可決され、その修正部分を除く原案も賛成多数で可決されました。

補正予算の概要

【歳出】

◆総務費

天空の展望公園整備事業	1,541万1千円
公共施設等総合管理基金積立金	3,500万円

社会資本整備総合交付金事業

(道路改良・維持事業)に係る経費

△2,650万円

◆民生費

重度心身障害者医療費	1,200万円
自立支援給付費	1,310万8千円

【歳入】

地方特例交付金 411万9千円

◆農林水産業費

多面的機能支払交付金	1,163万6千円
活力あふれる園芸産地整備事業補助金	△5,682万4千円

財産収入 3,104万1千円

◆土木費

市営急傾斜地崩壊対策工事請負費	800万円
-----------------	-------

【歳入】

諸収入 5,727万5千円

市債 4,700万円

分担金及び負担金 △1,420万1千円

国庫支出金 △3,080万9千円

県支出金 △2,693万2千円

繰入金 △4,076万円

令和元年 第4回定例会

令和元年12月3日～20日
議案等の議決結果

条 例 案

議案番号	件 名	結果
議案第114号	竹田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について	可 決
議案第115号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可 決
議案第116号	竹田市議會議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について	可 決
議案第117号	竹田市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
議案第118号	竹田市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
議案第119号	竹田市分担金徴収条例の一部改正について	可 決
議案第120号	竹田市簡易水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第121号	竹田市水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第122号	竹田市公民館条例の一部改正について	可 決
議案第123号	竹田市体育施設条例の一部改正について	可 決
議案第124号	竹田市歴史文化館条例の制定について	可 決
議案第125号	竹田市旧竹田荘の管理及び公開に関する条例の一部改正について	可 決

予 算 案

議案番号	件 名	結果
議案第106号	令和元年度竹田市一般会計補正予算(第5号)について	修正可決
議案第107号	令和元年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第108号	令和元年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決

議案第109号	令和元年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第110号	令和元年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第111号	令和元年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第112号	令和元年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第113号	令和元年度竹田市水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決
一般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第126号	財産の貸付けについて	可 決
議案第127号	竹田市菅生育苗センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第128号	竹田市水の国のわくわく農園及び道の駅すくの指定管理者の指定について	可 決
議案第129号	竹田市城下町交流プラザの指定管理者の指定について	可 決
議案第130号	竹田市福祉施設はくすいの指定管理者の指定について	可 決
議案第131号	竹田市荻福祉健康エリアの指定管理者の指定について	可 決
議案第132号	竹田市直入高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第133号	市道路線の認定について	可 決
議案第134号	字の区域の変更について	可 決
議案第135号	字の区域の変更について	可 決
議案第136号	字の区域の変更について	可 決
決 算 認 定 案		
議案番号	件 名	結果
認定 第 2 号	平成30年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 3 号	平成30年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 4 号	平成30年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 5 号	平成30年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 6 号	平成30年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 7 号	平成30年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 8 号	平成30年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 9 号	平成30年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 10 号	平成30年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定 第 11 号	平成30年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
決 議 案		
議案番号	件 名	結果
決議案第3号	竹田市立都野小学校用地の賃貸借契約に対し議会議決を求める決議	可 決

■令和元年第4回定例会 賛否一覧表 ※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議員名(議席番号順)		① 首藤 健二郎	② 佐藤 市蔵	③ 上島 弘二	④ 佐藤 美樹	⑤ 鶩司 英彰	⑥ 山村 英治	⑦ 阿部 雅彦	⑧ 渡辺 克己	⑨ 井 英昭	⑩ 徳永 信二	⑪ 日 小田 秀之	⑫ 坂梨 宏之進	⑬ 加藤 正義	⑭ 吉竹 悟	⑯ 佐田 啓二	審議結果
議案番号・件名																	
議案第106号に関する修正案		<input type="radio"/>	-	可決													
議案第106号	令和元年度竹田市一般会計補正予算(第5号)について ※修正可決を行った部分を除く原案	<input type="radio"/>	-	可決													
議案第110号に関する修正案				<input type="radio"/>										<input type="radio"/>		-	否決
議案第110号	令和元年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	<input type="radio"/>	-	可決													
議案第111号に関する修正案				<input type="radio"/>										<input type="radio"/>		-	否決
議案第111号	令和元年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	<input type="radio"/>	-	可決													
議案第112号に関する修正案				<input type="radio"/>										<input type="radio"/>		-	否決
議案第112号	令和元年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について	<input type="radio"/>	-	可決													
議案第113号に関する修正案				<input type="radio"/>										<input type="radio"/>		-	否決
議案第113号	令和元年度竹田市水道事業会計補正予算(第2号)について	<input type="radio"/>	-	可決													

議案番号・件名	議席番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	審議結果
議案第114号 竹田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第115号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第116号 竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第117号 竹田市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第118号 竹田市職員の給与に関する条例等の一部改正について		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第122号 竹田市公民館条例の一部改正について		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
決議案第3号 竹田市立都野小学校用地の賃貸借契約に対し議会議決を求める決議		○	○		○	○	-	○	○			○		○		○	○	- 可決

※議長は表決に参加しないため、表決結果は「-」。 表の見方…○：賛成、-：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。



今回のチャリティーショー

ヨー、我が議会の出し物は笑点でお馴染みの「大喜利」です。台本通り、あるいは議員それが考えぬいたギヤ

グを織り交ぜながらの進行でした。

わかりづらいギャグもあつたと思いますが、観客の皆さんのが笑顔をステージ上から眺めながら演じる」とができました。やはり舞台は、客席とステージが一体化する事で盛り上がりります。実は、何を隠そう、とても不安でした。「日本ができ、いざリハーサル。チグハグなやり取りばかりで…。」

「大喜利」は、思いどおりにはいかないもの。臨機応変な対応が必要ですが、そこはやさすがに議員の皆さん。議場で丁々発止をやり合ひての強者、堂々たるこなしがしました。出演者独自のアイデアが活かされた「大喜利」になつたと聞いています。

思い通りにいかないと嘆息せ、なぞかけのオチを会場にいた土居県議から先に叫われてしまつ、とうつハプニング発生!? それも2つ続けてオチを先に暴露されてしまふおつした。つかしながらお客様まで座布団を運びにこつたアドコブが泣え、みなさん大喜びでした。やあ、次回は何を演ろうかな? アタマを悩ませながらも、実はもう決めてたりして…。

社会文教部任委員長
首藤 健一郎

社会文教部任委員長
首藤 健一郎

社会文教部任委員長
首藤 健一郎

編集委員
佐藤 市蔵

編集委員
佐藤 市蔵

あとがき

竹田市の国際姉妹都市であるドイツのバードクロツ

インゲン市で行われた交流

30周年記念式典に参加した。

交流は炭酸泉をキーワードに始まつたがコーラスグル

ープの交流、直入町の職人による温泉施設ヴィタクラ

シカの日本庭園の造営、現

地にある竹田市のブドウ園で摘まれたブドウを使用し

たワインの輸入、中学生のホームステイ事業など、確

実に親交を深め、文化や経

済交流を育んできた。滞在中はホームステイ先をはじめ、多くの皆さんに親切に

して頂いた。毎日催される多くの行事に参加したが、

市を挙げての歓待で1週間が経つのが早かつた。15名

の訪問団は、ドイツに酔い

しれ帰国後も幾度となく交

流会を開き、友情の輪を広げている。5年後は、竹田

市で交流35周年記念式典が開催される。